

実績報告書

届出者	住所	大阪市西区南堀江三丁目 16番30号	氏名	寶船冷蔵株式会社 代表取締役社長 中井 宏
特定事業者の主たる業種		47倉庫業		
該当する特定事業者の要件		レ 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者		
事業の概要		主に、冷凍水産物・水産加工品・畜産物・畜産加工品・農産物・農産加工品・冷凍食品その他食料品の冷蔵保管を行っており、大阪市内で本社、工場として堀江・港・南港の3事業所で行っている。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間	2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)
---------	---------------------------------

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2015)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	5,680 t-CO ₂	5,726 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,105 t-CO ₂	6,158 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 (年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0%	-0.7%	-0.8%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.1%	-0.6%	-0.9%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(建物延床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

平成29年度の使用エネルギー割合は、電気が99.2%を占める。電気使用量のうち、冷凍機を含む冷却設備が大半で、エレベーター・垂直搬送機・移動ラック・バッテリーフォークリフト充電器等の荷役設備、照明器具と順次小さくなる。冷却設備は、外気温度・貨物取扱量(入庫量・出庫量・在庫量)に左右される。荷役設備や照明器具は、貨物取扱量に左右される。29年度は南港工場(新館)で、HID 121w 108台をLED27w 108台に更新し、16.12 t-CO ₂ 削減したが、原単位が基準年に比べ改善できなかった。
--

(2) 推進体制

本社及び各工場に省エネ担当者を定めているが、よりスキルアップする為、省エネに関する講習会・説明会・見学会等への積極的な参加を行っている。